

学位論文審査結果の要旨

所 属	乙 三重大学医学系研究科生命医 科学専攻病態制御医科学講座生体 防御医学分野	氏 名	松原 明弘
審 査 委 員	主 査 山崎 英俊 副 査 片山 直之 副 査 緒方 正人		
<p>(学位論文審査結果の要旨)</p> <p>Recombinant Ag85B vaccine by taking advantage of characteristics of human parainfluenza type 2 virus vector showed Mycobacteria-specific immune responses by intranasal immunization</p> <p>ウイルスベクターは、適切な抗原特異的免疫応答を誘導することを期待できるワクチン候補である。結核菌は、通常、肺の粘膜面を介して宿主に侵入するため、結核菌に対する最良の防御方法は、全身および粘膜免疫の両方を誘導しうる粘膜ワクチンである。BCG が唯一の認可された結核ワクチンであるが、成人の肺結核に対する効果は一定していない。本研究で、著者らは、組み換えヒトパラインフルエンザ2型ウイルス (rhPIV2) をワクチンベクターとして使用した新規結核粘膜ワクチンの効果を BALB/c マウスにて評価した。Ag85B を発現する非増殖性 rhPIV2 (M 遺伝子欠損) (rhPIV2-Ag85B) は、リバーズジェネティクス法で作製された。rhPIV2-Ag85B の経鼻投与により結核特異的な免疫応答が誘導され、ワクチン接種マウスでは肺および脾臓での結核菌量が減少していることが示された。他のワクチンベクターと違い、rhPIV2-Ag85B を免疫して誘導された Ag85B に対する免疫応答は、ウイルスベクターそのものに対する免疫を凌駕していた。さらに、rhPIV2-Ag85B それ自体に retinoic acid-inducible gene I receptor (RIG-I) を介したアジュバント活性があることが示された。rhPIV2-Ag85B が新規結核ワクチンとなる可能性があることを示した論文であり、学術上極めて有益であり、学位論文として価値のあるものと認めた。</p>			

Vaccine

2014年1月29日オンラインにて掲載

Kenta Watanabe[#], Akihiro Matsubara[#], Mitsuo Kawano, Satoru Mizuno,
Tomotaka Okamura, Yusuke Tsujimura, Hiroyasu Inada, Tetsuya Nosaka,
Kazuhiro Matsuo and Yasuhiro Yasutomi

These authors contributed equally to this work.